

PORT SAPIE

ぽるとさぴえ

函館大学広報誌Vol.16●発行／函館大学広報誌編集事務局

2003 JUNE.
Vol.16



●特集 教職への挑戦

商学部教育の上に専門性の高い教員養成

・教員採用試験合格体験記

・教員として活躍する卒業生たち

●新学長にインタビュー

社会そして学生から「あつく」信頼される大学

●平成14年度就職状況

厳しい就職環境の中、内定率88.1%を確保

●平成16年度入試に向けて

AO入試・特別奨学生入試をさらに充実

函館大学



函館大学校歌

親潮速き

作詩 土田秀雄
作曲 館野信平

親潮速き海峡を とどろと寄する荒波も
乗り越え行かんひたすらに 北極星を仰ぎつつ
真理の海に悼させば 黙示ひらけて人の世の
まことの平和あらわれん お、これぞこれ友垣を
一つに結ぶ望みなれ 讀えんかなや我等が母校

一、穂並みも霞む大平原 鷗群れ飛ぶ北の海
尽きせぬ富を拓きつつ 担う文化の豊けさよ
恵み顔ちてもろ人と 手に手をとらば人の世の
楽園ここに開けなん お、これぞこれ友垣を
一つに結ぶ望みなれ 讀えんかなや我等が母校

三、狭霧晴れゆく蝦夷松の 林のかたが郭公鳴く
思案の朝を踏みゆけば 心開くる思いあり
友とし学ぶ幸ありて 誠に結ぶ学園の
道ひとすじに進まん お、これぞこれ友垣を
一つに結ぶ望みなれ 讀えんかなや我等が母校

3月までの主な日程

5月22日	AO入試〈第1期〉(～10/4)	11月28日	推薦入試
6月30日	3年次第1回就職ガイダンス	29日	就職合宿セミナー
7月 4日	交換留学生修了式・派遣留学生許可書 交付式		於：グリーンピア大沼(～11/30)
15日	前期授業修了	12月11日	後期授業補講開始(～12/13)
16日	前期授業補講開始(～7/18)	15日	第22回函館大学海外研修旅行 (～12/24・ロンドン他)
19日	前期末試験開始(～7/31)		就職懇談会(札幌)
26日	オープンキャンパス〈第1回〉	1月 9日	AO入試〈第3期〉(～3/12)
8月 1日	夏季休業開始(9/21)	14日	後期授業再開
9月 7日	協学会地区懇談会(函館)	26日	後期授業終了
9日	協学会地区懇談会(札幌・青森)	27日	後期末試験(～2/9)
10日	協学会地区懇談会(仙台)	31日	卒業論文提出締切
11日	協学会地区懇談会(東京)	2月 2日	試験入試、自己推薦入試、社会人入試 編入学試験〈第2期〉
19日	学園創立記念日	5日	本学主催業界研究会 就職懇談会(函館)
22日	後期授業開始	3月 1日	春期休業(～3/31)
29日	3年次就職活動決起大会	16日	第36回卒業式
10月 1日	就職内定公示	17日	特別奨学生入試〈第2期〉
4日	オープンキャンパス〈第2回〉		
6日	AO入試〈第2期〉(～12/27)		
17日	大学祭(～10/20)		
30日	特別奨学生入試〈第1期〉 編入学試験〈第1期〉		

函館大学
広報誌編集事務局

〒042-0955 函館市高丘町51番1号
TEL (0138) 57-1181 FAX (0138) 59-4575

ぽるとさびえ

「ぽるとさびえ」は、ラテン語のポルトス（港や門を意味します）とサビエンティス（知恵や英知を意味します）を参考にしてつけられた題名です。皆様のご支援と叱咤激励により、親しみやすさのなかにも、大学らしい英知の香を漂わせる誌面づくりを心がけてまいります。



〔表紙〕ハリスト正教会

新学長ご挨拶

新学長として



第七代 学長 小笠原 愈

本学は昭和四十年に開学し、着実な歩みを重ねて満三十八年になる大学であり、今日まで、建学の精神である学園訓「報恩感謝、常識涵養、実践躬行」に基づく教育を進めてきています。また、商科系大学として質の高い個性のある大学にする理想を持ち、全教職員が一致協力して、着実に教育環境を整備し、研究に裏打ちされた教育を重ねてきています。

私は、学園校の一つである函館短期大学の学長から、昨年十二月十日付けで本学の学長になり、前任者の研究、教育の理念を引き継ぎ、二十一世紀に輝く大学に発展するよう重点目標を設け、この実現に向けて歩み始めていくところです。これは、「創造的に教育事業を進め、社会からあつく信頼される大学に高める」で、教職員がこの主旨を理解して結集し、分業と協業に創意工夫を始めています。

幸いにして、平成十三年度から始めた専攻塾（五つの塾で教

授スタッフと学生が人格的なふれあいを通して、より密着した少人数教育を実践する）・コース（マーケティング等六つの現代ビジネスについて選択の幅を広くして学修する）制度が三年目になり、国内の大学にはない独自の教育が結実するよう努めます。

特に、国際ビジネスコミュニケーション・専攻塾が主に担う英語教員（中学校、高等学校英語教諭一種免許取得）養成や、従来の経営コースを改善した企業家養成コースは、二年間の実践から生まれた新しい教育事業であり、社会のニーズに応えるものとして、他の専攻塾、コース、ゼミとともに充実を図っていきます。また、少林寺拳法、ハンドボール、軽音楽、弁論等のスポーツ、文化活動が高い評価を得ていますので、学生の勢いが一層増すように配慮します。今後は、高等学校との連携教育や、国際交流、商業、情報、英語の教員養成の関連化、地元のビジ

ネス層が求める人材養成等についても新たな展開を検討します。本学の独自性は、商学を追求することにあり、現代社会の「商」に即した、より実践的、実践的な企業学を研究し、教授スタッフが学生と共感的な関係を深めて感動のある授業を行い、生涯にわたって役立つ学修を創ることにあります。

重点目標にある社会は、津軽海峡を中心とする地域を軸に同心円的に広がるものであり、あつくは、各界各層から支持され、「入学するとよい教育が実現し、学生は確実に学修して希望の進路先を手に行ける責任のあるかわりがある」「函館大学で学んでほんとうによかった」と情熱的に信頼、評価されることです。平成十六年度の入学生から定員が二百名になりますが、多彩で個性的な教育事業ときめ細かな教育活動が充実し、この様子を絶えず社会に公表し、評価を得るキャンパスに高めていくつもりです。

C O N T E N T S

新学長として 学長 小笠原 愈	1
新学長にインタビュー	2
社会そして学生から「あつく」信頼される大学	
特集 教職への挑戦	
商学部教育の上に専門性の高い教員養成	3
・教員採用試験合格体験記	4
・教員として活躍する卒業生たち	5
平成14年度就職状況	6
厳しい就職環境の中、内定率88.1%を確保	7
・今年巣立った新社会人	
今年度より「企業家養成コース」がスタート!	8
平成16年度入試に向けて	9
AO入試・特別奨学生入試をさらに充実	
北から南から 出身校紹介	10
FROM THE WORLD	12
第21回海外研修旅行 ロンドン&ミュンヘンの旅	
・韓国中部大と姉妹提携	
函館大学 ホストファミリー紹介	14
ゼミナール紹介	16
聴講生紹介	18
著書紹介	19
はこだて歴史散歩 五稜郭	20
函大ing	22
・第37回函大祭	
・Club Topics「少林寺拳法部」	
・函大ボウリング部顧問 助教授・西村 淳	
キャンパスレポート	26
・渡邊裕美さん弁論大会全国2位	
・熊谷隆司くん英検準1級に合格	
・小林壮敬くん全経簿記検定1級合格 ほか	
同窓生を訪ねて「うなぎ鯉之助」店主・中里拓二さん	27
上平幸好教授が函館短大学長に	
授業アラカルト「映像制作論」客員教授 山内鉄也先生 (映画監督・シナリオ作家)	28
キャンパス案内 図書館	29
平成15年度 公開講座のご案内	

個性的創造的に教育事業を構築し、社会そして学生から「あつく」信頼される大学



の質をどう維持していくか。これからの教育機関としての大学の役割を、どのようにお考えですか？

学長 〇これからこのことを考えれば、研究に裏打ちされた高等教育機関として充実すること。そのためには、本学ならではの個性的・創造的な教育事業を構築し、教育の質の向上に努めて、社会からあつく信頼される大学に高まることです。

—大学への信頼というのは、具体的にどのようなことですか？

学長 〇私があえて「あつく」というのは、一つは「厚く」で、関係機関や地域社会、そして父母の皆様との連携を大切にして、それらの皆様から厚く信頼されるということ。もう一つは「熱く」で、函館大学では質の高い教育を受けられる、商学に関する良質な情報を得られるんだという学生からの信頼です。こうした雰囲気は満ちあふれた

—昨年十二月十日付けで新学長に就任され、まずはその心境をお聞かせください。

学長 〇突然の指名だったので、驚きとともに、人生で最大の使命感と責任の重さを痛切に感じています。その責任の重さなどはどこからくるかという、函館短大の学長として、兄貴格の函館大学に対する地域社会の人びとの期待の大きさを肌で感じていたこと、他の四年制大学と同様に直面している十八歳人口の激減という課題に対処していく、その舵取り役を私が担えるか、という不安ですね。

—少子化問題をはじめ、数字の上では全入時代と言われる中で、教育や学生

学ならではの個性的・創造的な教育事業を構築し、教育の質の向上に努めて、社会からあつく信頼される大学に高まることです。

—大学への信頼というのは、具体的にどのようなことですか？

学長 〇私があえて「あつく」というのは、一つは「厚く」で、関係機関や地域社会、そして父母の皆様との連携を大切にして、それらの皆様から厚く信頼されるということ。もう一つは「熱く」で、函館大学では質の高い教育を受けられる、商学に関する良質な情報を得られるんだという学生からの信頼です。こうした雰囲気は満ちあふれた

大学にしたいと考えています。当然のことを言っているようですが、信頼を得るためには、個性的・創造的に教育事業を構築し教育の質を高めなければならぬのです。学内にはこのような教育が確実に育ってきています。

—函館大学は、「ベンチャー・ユニバーシティ」をキャッチフレーズに、個性的で独自の教育への挑戦を謳ってききましたが、その成果が現れはじめているということでしょうか？

学長 〇「ベンチャー・ユニバーシティ」の理念は、もちろん生きています。具体的には、専攻・コース制、特に専攻は本学独自のものです。発想は松下村塾ですが、専門教育と人間教育を指した一つの挑戦です。再来年度には、専攻として初の卒業生が社会に出ますが、卒業生が社会でどう教育の成果を発揮してくれるか楽しみです。新しい動きとしては、本年度から中学校・高等学校の英語教諭一種免許の教職課程が認可され、国際ビジネスコミュニケーション専攻をメインに英語教員を養成していきます。本学の英語教育の特徴であるビジネス英語を修得し、海外留学の経験をしたり、質の高い資格を得ることが可能になります。また、これまでの経営コースを企業家



養成コースとして改善し、いわゆる一流企業への就職や、企業の後継者養成に標準を上げたカリキュラムを組めます。また、全体的に少人数指導の良さ、就職に対する手厚いサポート体制なども実ってきています。今後も、次々と独自の教育システムへの挑戦を続けたいと考えています。

—もちろん、よいところはそのまま継承していく。

学長 〇はい。実業界から多彩な特別講師を招いているのも、本学独自の特徴ですので、常に商学を追求し、現状を検証しながら、メイクニュー・メイクベターの考え方で、さまざまな挑戦をしていきたいと決意をしています。

特集 教職への挑戦

商学部教育の上に専門性の高い教員養成

函館大学では、「商業」「情報」の教職課程に加え、本年度より「英語」教職課程が開設されました。商学部の教育を基本とした上で、より高度な専門性を身につけた「商業」「情報」「英語」教員の養成をめざし、本学独自の教員養成プログラムを展開します。

教員養成機関として四年間の貫指導

本学では、一昨年度より独自の教育をめざしスタートした専攻塾の一つに「情報・商業教職専攻塾（以下教職専攻塾）」があります。これは従来からある商業科教職課程に加え、高校の必修科目になった「情報」科目の教員養成を目的とするものです。

最終目標は教員採用試験の合格ですが、教育大や教育学部と違う、商学部としての特徴を発揮することが、本学の個性ある教育にもつながります。

その特徴とは、商学部でありながら教職希望者に対し、専任教員が四年間一貫した指導ができること。商学部であるために、商学や情報に関するカリキュラムが充実していて、高い専門性が身につけられるなどです。

カリキュラム的にも工夫し、教職関連の必修科目は最低限に抑え、商業・情報の専門科目を多く選択できるようにして、より高い専門



専任講師 会沢信彦



助教授 佐藤義博

性が身につけられるようにしています。また「専門特講」では、教員としての知識・技能を育成するために「障害児教育論」、「児童福祉論」、「ボランティア論」、「生涯学習論」などの科目を設け、自分の興味ある分野の専門性を身につけることができるようにしています。



スタートから三年目となった今年は、いよいよ教員採用試験に向けての動きも本格化してきました。採用試験対策はもちろんのこと、学生たちの目的意識をより明確にするバックアップも試みます。実際に教員となった卒業生から話をしてもらったり、他県の教員採用状況や採用試験問題などの情報提供なども細かく行います。

教職専攻塾の担当教員である佐藤義博助教授は、教員をめざす学生たちに対し「教員は人間的にも尊敬される存在でなければなりません。学習面だけでなく、教員や友達と良い人間関係を作る努力をしてほしい」。教育心理学等を担当する会沢信彦専任講師は、「自分自身も教員としての専門性を高めるための努力をしています。それを学生たちに伝えながら、いっしょに成長していきたい」と語っていました。

教員として活躍する卒業生たち

現在教員として各地で活躍している卒業生から、自分が教員になることを決意した理由などを思い出していただきながら、教員をめざす後輩たちにメッセージを寄せてもらいました。

力して下さいます。多くの教師が誕生することを期待しています。



私が教師になるという決意は、教育実習を体験し、生徒達と接して、楽しいと感じたことからです。当時、就職内定をもらっていましたが、教師になりたいという気持ちが強くなり、教員採用試験合格を目標に、問題集を求め、毎日ひたすら勉強しました。また、面接の対策も念入りにやり、合格を手に入れました。

今、担任として二回目の卒業生を送り出し、部活動の顧問として、教務課専任として充実した日々を送っており、生徒達の成長を見ることもうれしく思えるようになりました。

生徒たちは人間ですから、教師という仕事は、マニュアル通りには事が進まず、悩みも少なくありません。本当に教師になりたいと強く思う人でなければやり通せない仕事です。教師を志す人は、強い信念を持って努力して下さい。

教師になるには強い意志が必要です

山形県立左沢高等学校教諭

小松 英樹（平成六年卒・第二十六回生）



あきらめないことが大事です

埼玉県・花咲徳栄高等学校教諭

木造 卓（平成五年卒・第二十五回生）

二年生の情報コースの担任として授業とクラス経営に忙しい日々を過ごしています。私は、大学で教員免許は取得しましたが、教員採用試験は受験しませんでした。一時は地元東京の企業に半年間就きました。しかし、大学四年次での教育実習の貴重な体験と教職への憧れが消えず、ふと目に留まった教員採用試験の募集広告を見て、受験しました。

それまでも採用試験に向けた勉強は続けていたもので、夢が叶ったときは、天にも昇る気持ちでした。今、教員採用試験は難関といわれていますが、本当に教職に就きたいと思えば、絶対にあきらめないことです。目標に向かって全力で頑張ることです。そして、大学時代は勉強とともにいろいろなことに興味を持ち、たくさんの方と交流して下さい。その貴重な経験から社会人としてのマナーや誠実さ、謙虚さを身につけてほしいと思います。

必ずや素晴らしい先生になれると信じています。頑張ってください。先輩として教職を目指す皆さんにエールを送っています。



オリジナリティある教師をめざせ

岩手県立久慈商業高等学校教諭

下権谷 久和（平成九年卒・第二十九回生）

そして、教師は生徒に対し平等で公平な態度を持ち、最後まで丁寧に指導を心がけるべきだと強く心に感じたことが、教師になりたいと思った直接の動機でした。その思いで大学を受験しましたが失敗し、一度は就職に就きました。しかし、教師への思いがどうしても捨てきれず、一年後に函館大学に入学しました。

普通科卒の私にとって商業科教諭の免許を取得し、採用試験に臨むのは困難なことでした。私の勉強法は、図書館にある教員養成セミナーの過去三年分をコピーし、繰り返し勉強したことです。また、自分の知見を広げるために、海外研修や多くの人の交流なども積極的に行いました。

現在は、生徒のことを広く理解したいと考え、現職派遣制度で岩手大学大学院で心理学を学んでいます。仕事と勉強の両立はたいへんですが、充実した毎日を送っています。

後輩の皆さん、函館大学で学ぶ方にはマニュアル通りの教師ではなく、オリジナリティのある教師を目指して下さい。そして、多くの生徒の支えになってあげられるよう、共に頑張りましょう。

教員採用試験合格体験記

神奈川県教員採用試験合格 河瀬 久雄（平成十三年卒）

函大卒業後に道教育大、そして教員へと夢をかなえた河瀬君

今回が初めての受験だった。試験対策として何をすればよいのか、教育についてどの程度まで知識をつけなければよいのかなど、分からないことがばかりであった。しかし、教師になりたいという気持ちを持ち、私は頑張つて勉強を続けた。その甲斐あって、合格を手に入れることができた。ここで、私の体験を述べていきたいと思う。

教員採用試験で求められているものは、とても多いと思う。教員としての資質はもちろん、教養、専門知識など、求められているものの範囲は広い。私は問題集、模擬試験を何度も見直し、覚えるようにした。そして、論文、面接対策も兼ねて、教育について自分の意見をまとめた



私は、教員採用試験と同時に教育実習を行っていた。教育実習が忙しく、勉強をする時間がまったく取れなかったが、この実習での経験を面接のときに生かすことができた。学校での実習経験を例として取り上げることによって、自分の考えを強くアピールすることができた。先生、家族、友人の応援があったおかげで、無事に神奈川県教員採用試験に合格することができたと思う。四月から教師生活が始まりました。不安と期待で胸一杯であるが、この教師の仕事を生涯のものとし、頑張っていきたい。応援、助言をいただいたみなさんには、とても感謝しています。ありがとうございます。

英語教職課程を新設 本学と文部科学省の方針が合致

専攻塾の一つに「国際ビジネスコミュニケーション」専攻塾（以下国際塾）があります。これは従来より「生きた英語」をめざし、具体的には英検準一級・TOEIC700点以上を目標にしています。この教育方針が、昨年七月に文部科学省が策定した「英語が使える日本人」の育成のための戦略構想」の中で、今後の英語教員に求める指針と合致していることから、函大では英語教職課程設置を申請、認可を受け本年度より開設されました。道南では北海道教育大函館校について二校目となります。



教授 高月 晋

取得できる免許は、高等学校教諭一種と中学校教諭一種。国際塾の学生が受講の中心となりますが、基本的には全学生が英語教職課程を受講することが可能です。

英語教職課程の認可を得たことに對して、小笠原学長は「本学の英語教育の実績が認められた証であり、今後も地域社会に厚く信頼される大学をめざしたい」と述べています。

また、国際塾を担当する高月 晋教授は、「当塾の英語科目単位数は、外国語学部にも匹敵します。それだけ英語に重点を置き、具体的な目標を持って行っています。授業での勉強だけでなく、海外留学・語学研修の機会もできる限り与え、海外経験や国際感覚を身につけた英語教員を育てたい」と語っています。

厳しい就職環境の中、内定率八八・一％を確保 道外企業への就職は七三％と強みを発揮



▲就職部長 教授 藤島 暁

平成十二年四月から十三年三月にかけての日本の経済状況は、IT産業を中心とした

景気の悪化や米国の経済の減速及び同時多発テロ事件などの影響により、依然として厳しい状況が続いた。十三年度後半には米国の経済の若干の回復傾向により、日本経済も一部に明るい兆しが見られたものの、金融機関の不良債権処理もいまだ着地点が見えず、企業の設備投資も低迷したままであり、雇用情勢・所得状況・個人消費などの景気回復を実感するまでには至らなかった。

このような就職環境のもと、平成十四年度大卒採用予定数は、企業業績悪化の影響で全体的に採用抑制傾向が強まり、

「厳選採用」や「本音採用」と呼ばれる就職戦線がスタートした。特に、道内出身者が半数近くも在籍している本学の就職希望学生にとっては、毎年相当数採用している道内の大手・中堅銀行の採用予定無しや大手流通企業の採用人数半減などにより、一層厳しい就職活動が強いられ、一年であつた。

本学の就職状況は、このような厳しい逆風の中でも公務員受験予定者、進学予定者などを除く就職希望者の八八・一％（前年九一％）の就職内定率を確保することができた。



▲就職セミナーでの模擬面接

内定企業を規模別構成比率で見ると、資本金十億円以上の企業内定者は二八％（前年三六％）、一億円以上では五五％（前年六三％）と大手企業への就職内定者が減少した。従業員数別構成比率でも、千人以上の企業で二八％（前年三四％）、三百名以上では五一％（前年五七％）の学生が就職している。業種別構成比率では、卸売・小売・飲食業四三％（前年三九％）、サービス業二三％（前年一七％）などが増加した。しかし、金融・保険業五％（前年一四％）、製造業八％（前年一四％）と共に前年実績を下まわる結果となった。

内定企業の本社所在地別では、函館・札幌などを中心とした道内企業が二七％（前年三二％）、東京などを中心とした道外企業が七三％（前年六九％）と、道内企業の採用抑制が一層厳しかったことを物語っている。

厳しい就職環境ではあつたが、就職希望学生の大部分が

就職できたことは、学生本人の努力はもちろんであるが、企業及び関係者各位の協力の賜物と感謝している。従来より、本学では学生の就職支援として様々な事業を展開している。三年生の七月月上旬から半年間毎週行っている就職ガイダンス・約六十社が参加する本学主催の業

界研究会・就職合宿セミナー・就職インターネット講座など学生に対する様々な支援活動を行っている。今後とも、就職希望学生全員の完全就職をめざして努力したい。



▲本学主催の合同企業説明会「業界研究会」



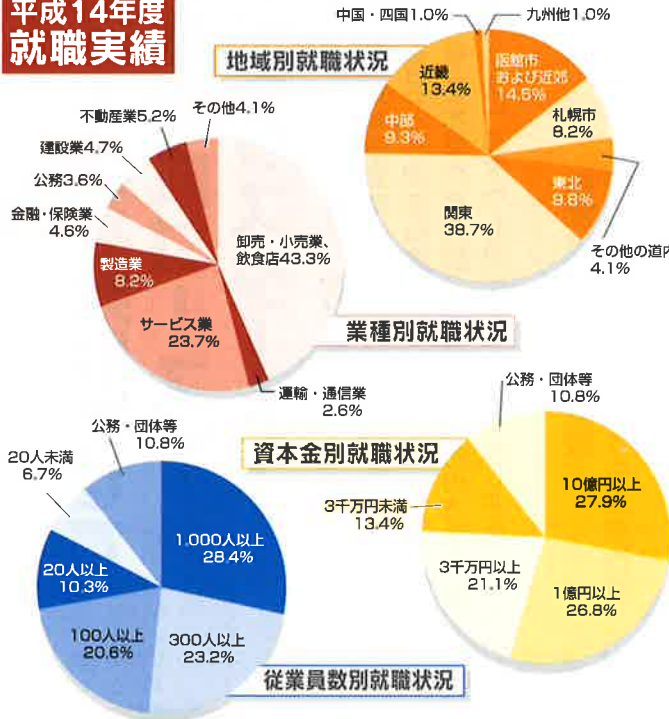
▲就職情報センターでは、インターネットを自由に活用できます。

平成14年度 進路状況

就職決定率88.1%



平成14年度 就職実績



今年巣立った新社会人

今春も、函大を巣立った多くの若者たちが、それぞれの希望を胸に社会人としての一歩を踏み出しています。この原稿は、昨年の内定段階で就職活動を振り返って書いてもらったものです。内定獲得までの過程や、就職を控えての気持ちを綴ってもらいました。

社会に羽ばたく

マスプロ電工(株)入社 高橋 一誠 (札幌平岸高校出身)



この度私は、マスプロ電工(株)の内定をいただきました。複数の選択肢のなかでこの会社を決めた理由は、社員・職場の雰囲気と会社の経営方針に魅力を感じたからです。

私の職種は営業です。本格的に就職活動をする前は、接客・販売の仕事をしたかったと考えていました。しかし、マスプロ電工の社員の方々と面接を通じて話をしたとき、直感で「この人たちが仕事をし、自分の価値を高めていきた」と感じました。また、いろいろな方々からアドバイスを受け、決意を固めたわけですが、最後の答えを出すのは自分自身に励んでいきたいです。

大学生生活のテーマが将来に結びつきました

青山商事(株)入社 工藤 聡 (山形市立商業高校出身)



私はアルバイトの経験から接客という仕事にやりがいを感じ、将来もこの仕事を通じて人から信用され、尊敬される人間になりたいと考えているようになりました。その希望に沿って私の就職活動はスタート。最終的に青山商事という会社を選択した理由は、店舗見学を通じて実際に店員の方々が接客されている姿に、たいへん魅力を感じたからです。

このように私が、人と接することに興味を持つようになったのも、大学生生活において

グランドホステスの夢が叶いました

JALスカイ札幌入社 桜井 セリナ (函館西高校出身)



私は高校時代から、空港で働くグランドホステスに憧れを持っていました。そして、函大に入学し、英語を重点に勉強しながら、グランドホステスへの希望が強まり、就職に挑戦することになりました。就職に対しては、ゼミの高月先生にお世話になり、きっかけを作ってくれたことに感謝しています。

自分が成長できる企業と思い決めました

(株)伊藤園入社 鶴田 隆志 (熊本市立商業高校出身)



私の就職活動の始まりは、函大主催で開かれた合同説明会でした。この合同説明会で伊藤園の説明を聞き、やりがいのある企業、成長している企業と感じ、私自身も「ここに入社できれば成長できる」と思い志望を決めました。大学側にもいろいろとサポートし

自己分析をしっかり行い、希望業種を絞りました

積水ハウス(株)入社 濱中 紀益 (東京・正則学園高校出身)



就職活動をはじめ、正直自分が何をしたいかがまったく決まっていなかったため、大学の就職課の指導で自己分析を徹底的に行いました。自己分析の結果、住宅業界ならお客様から最高の「ありがとう」を言ってもらえる、そのための努力ができると思う、住宅業界に志望を絞りまし

TOPICS

「経営コース」を発展させて、 「企業家養成コース」 今年度よりスタート！

現在の「経営コース」を、さらに地域企業ニーズに応える教育を実践しようとして「企業家養成コース」へと発展させ、今年度入学生から開設することが決まりました。また一つ、新たな教育に挑戦しようとする本学の考えが、具体化したものです。では「企業家養成コース」のアウトラインを説明しましょう。

人気上位一〇〇以内の 企業への就職を目標に

「企業家養成コース」では、二つの目標を掲げています。その一つは、大学生就職希望ランキング上位一〇〇以内の企業に内定の取れる学生、あるいは就職先企業を将来ランキング一〇〇以内に成長させることができる学生を養成することです。

これまで、経営の基礎を学ぶことに重点を置いた経営コースの内容から、より実践的で戦略的な経営を学ぶ内容へと発展させています。実際の社会・企業・地域についての事例を教材に多用し、ケーススタディによる経営の疑似体験を重視します。また、毎日の習熟度チェックと不足分補習を完全実施いたします。

北海道らしいパイオニア精神を持った、戦略的なビジネスマンの養成を目的とします。

自営企業の後継者養成 要望に合わせたプログラムを作成

もう一つの目標は、自営企業の後継者の養成です。これは、道南・青森地方で近年廃業した中小企業の約三割が、後継者がいないことを理由に挙げていることから、後継者の養成は急務な問題ととら



えたからです。企業経営者の子息で将来は家業を継ぐと考えている学生はもちろん、経営ノウハウを学びたいと望む社会人にも最適なコースと言えるでしょう。

各地の商工会議所、業界団体と連携をとりながら、企業の要望に即した教育プログラムをオーダーメイド感覚で作成し、企業の実務と直結するような教育を行います。ここから、地域経済を担う人材の養成を目的としています。

「企業家養成コース」担当スタッフ

- 理論教育**
- 教授 河村 博旨
「会社法」「商法総論」
- 教授 高橋 真
「経営学総論」「経営管理論」「情報処理論」
- 教授 永盛 恒男
「法学」「民法総論」「債権法」
- 実践教育**
- 教授 藤嶋 暁 (元シャープ人材開発センター所長)
「労務管理論」「国際経営論」
- 客員教授 磯村 元史 (元東洋信託(現UFJ)銀行副社長)
「証券経済論」
- 客員教授 浜田 正行 (元東京ドーム副社長)
「レジャービジネス論」
- 非常勤講師 小林 裕幸 (元STV函館放送局長・アナウンス部長)
「実践コミュニケーション論」「放送文化論」

企業家養成コースに期待します



函館商工会議所理事・事務局長 野崎 隆夫氏

全国的な傾向として、後継者問題から廃業するケースが増えており、函館も同じ現状であり、特に近年は小売業の廃業が目立っておりあります。そうした中で、教育サイドから後継意欲や起業意欲を持った人材を輩出しようという試みは、経済界にとって有意義なことだと思います。

函大で学ぶ会計・商法に関する知識はすぐに役立つでしょうし、優秀な教育スタッフが揃っていることから、企業経営を実践的に学べるものと期待しています。

当会議所としてどのような形で協力できるかはまだ具体的ではありませんが、地元函館の経済状況や地場産業についてお知らせしたり、地元企業の意識調査などを共同で行い、お互いのデータとして活用するなどが考えられます。できる限りの協力は惜しまないつもりです。函館大学の新しい試みに、期待しております。

※野崎氏は函館大学三回生(昭和四十六年卒)です。

平成16年度入試にむけて

意欲と目的を持って入学してもらったため AO入試・特別奨学生入試をさらに充実。

函大では、個性的・創造的な教育の実現をめざし、教育プログラムの改善を図るとともに、入試制度も年々見直しを図っています。入試制度改革も、個性的な教育の一環としてとらえ、その方針に合致した学生を確保することを目的としています。来年度入試では、従来から実施しているAO入試と特別奨学生入試を、より受験しやすいように内容を充実させております。



入試部長・助教授 松 喜美夫

AO入試出願期間を 大幅に延長

入学希望者と本学入試担当者が面談を重ね、本学の教育内容や入学希望者の希望等を双方が理解したうえで、受験してもらおうのがAO入試制度です。そのメリットは、本学への進学の動機付けをはっきりさせることで、入学後の学業の目標を明確にできること。学生の認識の違いから生じる入学後の不満を未然に防ぎ、満足度の高い学生生活を送ることができるとなっています。

従来、AO入試は面接実施期間を三期に分けており、実

施可能日に空白が生じていたが、今年度は五月から翌年三月まで随時、面談を受け付けます(日祝日・年末年始除く)。他大学と併願する場合でも、出願・面談は可能ですので、本学に関心のある受験生はまず、入試課までご相談ください。

また、今年度からAO面談室を新設し、一回当たりの面談で一時間の時間をかけ、ゆつくりと話し合った上で、双方の理解を図ります。面談の際には、学内のご案内しますので、ぜひ見学してください。

特別奨学生入試も 三月に二期を実施

今年度で三回目の実施となる特別奨学生入試も、出願機会を従来の一期から二期へ増やしました。特別奨学生入試は、向学心がありながら、経

済的理由で進学をためらう学生のために、入学金および授業料の免除や貸与などの特典を与えるもので、入試成績により四つの区分があります。従来は、十月に出願期間・試験日を設けていましたが、今年度入試では三月にも実施します。これは、他大学を希望しながら合格にいたらなかったものの、現役での進学を希望する人にチャンスを与え、相応の学力を持つ学生に就学機会を与えることが目的です。

本学では、学内見学希望者を随時受け付けております。自分の将来にわたって大事な選択となるものですから、ぜひ大学を見学したり入試担当者に質問して、納得した形で受験に臨んでほしいと思います。父母説明会・進学相談会も各地で開催いたします。ぜひご参加ください。

開催日		開催地	開催場所	開催日		開催地	開催場所
6月10日	火	仙台市	仙台サンプラザ	9月10日	水	山形市	山交ビル(ダイエー)※
6月10日	火	宇都宮市	マロニエプラザ※	9月11日	木	釧路市	釧路プリンスホテル
6月11日	水	山形市	山形国際ホテル※	9月12日	金	帯広市	帯広東急イン
6月12日	木	福島市	ホテル福島グリーンパレス※	9月13日	土	仙台市	アエル
6月13日	金	郡山市	郡山ビューホテルアネックス※	9月16日	火	郡山市	郡山ビューホテルアネックス※
6月16日	月	会津若松市	会津若松ワシントンホテル※	9月16日	火	室蘭市	室蘭パレスホテル
6月17日	火	いわき市	いわきワシントンホテル※	9月17日	水	福島市	ホテル福島グリーンパレス※
8月25日	月	旭川市	旭川グランドホテル	9月17日	水	苫小牧市	グランドホテルニュー王子
8月26日	火	北見市	ホテルベルクラシック北見	9月18日	木	小樽市	小樽グランドホテル
8月27日	水	釧路市	釧路パシフィックホテル新館	9月19日	金	札幌市	札幌パークホテル
8月28日	木	帯広市	ホテルノースランド帯広	9月20日	土	札幌市	札幌パークホテル
8月30日	土	札幌市	札幌パークホテル	9月22日	月	函館市	ホテル法華クラブ函館
9月 1日	月	函館市	ベルクラシック函館	9月24日	水	北見市	ホテルベルクラシック北見
9月 4日	木	青森市	青森グランドホテル	9月25日	木	旭川市	旭川ターミナルホテル
9月 5日	金	八戸市	八戸グランドホテル	9月29日	月	滝川市	滝川ホテル三浦華園※
9月 8日	月	秋田市	ホテルメトロポリタン秋田	9月29日	月	岩見沢市	岩見沢市文化センター(市民会館)※
9月 9日	火	盛岡市	ホテルメトロポリタン盛岡				

※は資料参加のみの会場

※は資料参加のみの会場

詳しくは入試課までお問い合わせ下さい。 ☎0120-00-1172

2004年度入学案内が完成



入学案内のご請求は入試課まで
☎0120-00-1172
URL <http://www.hakodate-u.ac.jp>

北海道函館稜北高等学校

私の母校・北海道函館稜北高校、自然に囲まれていて、とても過ごしやすい学校でした。学校祭では、各クラスごとにダンスなどの発表をしたり、模擬店を出したりして大いに盛り上がりました。

稜北高校の部活動は、サッカー部、バスケットボール部、ラグビー部、バレーボール部などの運動部は、全道大会に出場するなど良い成績をおさめています。

卒業後の進路は、ほとんどの生徒が進学しています。自分も函館大学に進学したわけですが、こうして進学できたのも三年間の高校生活のおかげだと思っています。



村瀬 貴彦くん (2年)

これからも、高校生活の三年間で学んだことを忘れず、充実した大学生活を送りたいと思っています。



創立20周年、新たな伝統を創造

昨年、開校20周年を迎えた普通科高校。校訓は「創造・良識・健康」で、知・徳・体の調和をとれた人格形成をめざしています。卒業生の進路は、8割近くが進学している状況です。伝統的な学校行事は、大沼湖畔を走るマラソン大会で、SB陸上部監督の瀬古利彦さんを招いて開催したこともあります。

クラブ活動は、過去3年連続花園大会出場経験のあるラグビー部、全道大会優勝経験のあるサッカー部など、各種のクラブ活動が活発に行われています。

北海道函館稜北高等学校 (創立：昭和58年)
北海道函館市石川町181番地8
TEL (0138) 46-6235 FAX (0138) 46-6236

北から南から

出身校紹介

群馬県・太田市立商業高等学校

私に母校・太田市立商業高校は、平成十三年にバリアフリーを目指した新校舎が完成し、平成十四年度からは情報処理科が情報科へと変更になり、情報科と商業科の二つの学科になっています。代表的な学校行事は「百貨市」で、実際に仕入れから販売までを行う総合実習です。

部活動では、運動部では野球部、バドミントン部などが、文化部ではワープロ部、吹奏楽部が盛んです。私はバドミントン部で指導いただいた監督のような、生徒と同じ目線で物事を考えられる教師になりたいと思います、先輩の勧めもあって函館大学に進学することを決めました。大学進学の際に



六本木 勇人くん (2年)

お世話になった先生方には、とても感謝しています。

様々な経験を積むことができた高校三年間は、今の私の将来へ向かう原動力となっています。これからも自分の目標に向かって頑張りたいと思います。



大学の講義受講や太商百貨市などユニークな教育を実践

商業科と情報科の2学科があり、校訓は「誠実・友愛・創造」。平成13年度の新校舎完成で校内LANを完備したITネットワークを、授業等に活用しています。商業科では3年生になると、希望者は関東学院大学で経営学の講義を受講できるなど、独自の工夫も実践しています。

ユニークな学校行事として、生徒と教職員が模擬株式会社を設立して、大規模な販売実習を行う「太商百貨市」を開催。自由な校風と、ユニークな教育が特長です。卒業生の約6割が進学しています。

太田市立商業高等学校 (創立：昭和39年)
群馬県太田市細谷町1510番地
TEL (0276) 31-3321 FAX (0276) 32-3004

宮城県・東北高等学校

母校・東北高校は、小松島校舎と泉校舎の二つの校舎に分かれています。私が通っていた小松島校舎は、創進コース、文理コース、文教コース、ビジネスコースの四つ、計二十三クラスがあったマンモス校です。学習面では、以上のコースにより、自分のレベルに合った学習に励むことができます。私が入っていた文教コースは、二年生になると文系・理系に分かれ、さらに進学に向けて、科学と地学を選択し学ぶこともできます。

スポーツの面ではとても盛んな高校で、多くの部活があり、そのほとんどは全国大会で活躍し、スポーツレベルの高い高



湯下 真道くん (3年)

校です。私は三年間剣道部に所属していましたが、そこで礼儀作法や忍耐力を学びました。

今こうして充実した大学生活を送っているのは、三年次の担任兼顧問であった大友先生のおかげだと思っています。大学生活も残り二年となりましたが、母校で学んだことや経験を生かして、日々精進していきたいと思っています。



110年の歴史を誇る東北を代表する私学校

およそ110年にわたる歴史を持つ私学校。校訓は「至誠・忍耐・勤勉」で、創立以来「個性尊重」を重視した教育を実践しています。キャンパスは2つあり、小松島キャンパスでは創進、文理、文教、ビジネスの四コース、泉キャンパスでは、アウトドアスポーツで心身を鍛え、海外ホームステイを経験するフェスティナ・ジェネラルコースと、インディビジュアルコース (国際系・スポーツ系・特別進学系・総合進学系) があります。運動部は輝かしい実績を豊富に誇り、卒業生にはシアトル・マリナーズの佐々木主浩選手や、フィギュアスケートの本田武史選手など、国際的に活躍する選手も多数輩出。東北地方を代表する私学校です。

学校法人南光学園 東北高等学校 (創立：明治27年)
宮城県仙台市青葉区小松島4-3-1
TEL (022) 234-6361

熊本県・九州学院高等学校

私の母校・九州学院高校は、敬天愛人を教訓とする学校です。コースは、普通コース、英語特進コース、理数特進コースの三つに分かれています。どのコースも充実していて、特に英語特進コースは県内でも高く評価されています。

部活動の面では、数ある運動部の中で



住野 弘幸くん (2年)

も、野球、陸上、水泳、ボクシング、剣道などが全国大会に出場するなど多くの実績があります。

私は野球部で、進学時にどこの大学に行くか迷っていたときに、部活動の先生から函館大学を紹介してもらい進学を決めました。最初は不安なことが多かった函館での生活も、今では毎日が楽しく、充実していて満足しています。

高校三年間で学んだこと、そして野球を通して学んだことを、これからの大学生活に生かしていこうと思います。



明治の伝統が生きるミッションスクール

明治44年、アメリカのキリスト教会 (ルター派) により設立されたミッション系スクールで、設立者は宣教師チャールズ・L・ブラウン博士。ルター派のキリスト教教育に基づき「敬天愛人」を校訓としています。平成3年の創立80周年を期に、男子校から男女共学となりました。全クラス普通科ですが、英語特進コース、理数特進コースがあり、それぞれの分野を重点的に学び進学をめざします。ミッションスクールの伝統と、明治からの伝統が息づき、文武両道の校風を誇っています。

九州学院高等学校 (創立：明治44年)
熊本県熊本市大江5丁目2-1
TEL (096) 364-6134 FAX (096) 363-2576

ロンドン&ミュンヘンの旅

期 日／平成十四年十二月十五日～二十四日(十日間)
 参加者／団 長 高橋 真(教授・国際交流委員長)
 副団長 会沢 信彦(専任講師・国際交流副委員長)
 学 生 十六名

第二十二回を数える函大の海外研修旅行が、昨年十二月に十日間の日程で、実施されました。ロンドンとミュンヘン、二つの古い都市をめぐり、その伝統と文化に触れることができました。

この研修旅行の経緯を 海外留学へとつなげてほしい

「昨年、アメリカ同時多発テロの影響で取りやめた海外研修旅行ですが、二年ぶりに再開できたことをうれしく思っています。今回は「ロンドン&ミュンヘンの旅」ということで、研修の目的の第一に英語の修得が挙げられます。イギリスで英語圏での生活を経験することで、日ごろの英語学習の成果を試すことができました。」

また、ヨーロッパの文化的遺産をその目で見ることは、得難い経験となつたでしょう。ヨーロッパでは古いものと新しいものが上手に融合していますし、イギリスとドイツとの文化の違いも、学生たちはきつと感じとてくれたはずです。

私としては、ヨーロッパでは自分たちが残すべきものを世界に発信しようとする考えがあり、これは日本人にはあまりない発想だと感じました。それから、ロンドンでシャーロック・ホームズのビクトリア朝の世界が、現在でも息づいているのを見てもそう思います。



団長 高橋 真
(教授・国際交流委員長)

イギリスでは、本学の姉妹校であるバース大学へ行って、現在留学中の学生とも会ってきました。元気でがんばっている様子に安心しました。今回の海外研修で、留学に関心を持った学生も出てきたようです。この関心や希望を、実際の留学にまでつなげていくと、より海外研修旅行が有意義なものになると思います。



マックス・ヨーゼフ広場／ミュンヘン



タワーブリッジ／ロンドン



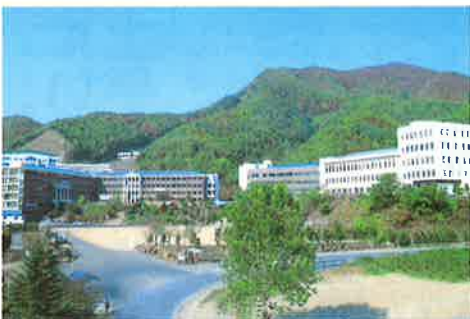
ビッグベンとテムズ川／ロンドン



大英博物館／ロンドン

行程表

1日目	函館空港→成田空港	成田泊
2日目	成田空港→ロンドン	ロンドン泊
3日目	ロンドン市内観光 (ビッグベン、バッキンガム宮殿ほか)	ロンドン泊
4日目	ロンドン観光(自由行動)	ロンドン泊
5日目	ロンドン観光(自由行動)	ロンドン泊
6日目	ロンドン→ミュンヘン	ミュンヘン泊
7日目	ミュンヘン観光(自由行動)	ミュンヘン泊
8日目	ミュンヘン観光(自由行動)	ミュンヘン泊
9日目	ミュンヘン→ロンドン→成田	機内泊
10日目	成田空港→函館空港	



韓国・中部大



姉妹校提携の調印を交す、中部大・李浩一総長と河村前学長

韓国・中部大と 姉妹校提携

函館大学は昨年九月に、韓国・大田市の中部大学と姉妹校提携を結びました。アジアの大学では、中国の南開大学に次いで二校目。これで函大の海外姉妹校は、アメリカ、オーストラリア、イギリス、中国、韓国の五カ国、計八校になりました。

今回、韓国の大学と姉妹提携を結んだのは、アジア圏を含めさまざまな言語圏との交流先を増やしたい考えがあり、今後は留学生の交換や教員間の共同研究を行う予定です。

中部大学は二九八四年の創立で、自然科学、工学などの十五学

部六十二学科を持つ私立の総合大学で、学生数は八百名を超えます。海外交流も盛んでアメリカ、ロシアなど十五校と提携していますが、日本での姉妹校提携は函大が初めてになります。

函大国際交流部長の高橋 真教授は、「本学も五カ国に姉妹校を持つようになり、複数の国への留学も可能になります。留学生の交換などの事業を進め、本学学生が学問的な触発を受けたり、海外に目を向けたら、自己の学習の目標を見つけるなどしてほしい」と、姉妹校提携の効果を期待しています。



ニュンヘンブルグ城／ミュンヘン



ロンドン塔／ロンドン



ノイシュバンシュタイン城／ミュンヘン

荒井到さん・昌代さん



荒井家にホームステイした留学生

- 1999～2000年
アレクサンダー・ウォーレンバーグ (ハワイ・パシフィック大学)
- 2000～2001年
アレクサンドラ・ステンストローム (ハワイ・パシフィック大学)
- 2001年
ティオ・ヒョン・フン (ハワイ・パシフィック大学)

国際経験は家にいてもできる。
子どもたちが上手にコミュニケーション。



▲荒井家全員集合

荒井さんご一家は、夫婦と子ども五人、それにイヌ三匹、ネコ一匹の大家族。ご夫婦は、子どもたちに「いつか国際経験をさせたい」と話していたそうです。「でも、よく考えると、何も外国に行かせるだけが国際経験ではなく、外国人をホームステイさせたら我が家でも国際経験ができる」と考え、また近所に函大助教授で留学生の世話をしている田中弘樹先生が住んでいたことも縁で、ホストファミリーを引き受けてくれました。



▲アレクサンダーと一家そろって

荒井家への二人目の留学生・アレクサンドラはスウェーデン人、三人目のティオはシンガポール人。そこで荒井家では、アレクサンドラの時はスウェーデン語を、ティオの時は中国語を書いた紙を壁に貼って、みんなで言葉を覚えてもらうようにしています。「世界にはいろんな人がいて、その違いを知るのが国際交流だと思ふ。外国人や外国語に抵抗がなくなったのは、いいことだと思う」と到さん。「それぞれの国の言葉があるけど、世界の共通語の英語の重要性を痛感しました。子どもたちも、英語に興味を持ったみたいですよ」と昌代さんは言います。

すっかり荒井さんご一家と親しくなってきた留学生たち。別れは本当につらいようです。ティオは帰国するとき、爪楊枝で荒井家を作ったプレゼントしてくれたそうです。それも内緒で。こうして、国籍も人種も関係ない心の交流を知っている子どもたちが、将来その心を広く発揮してくれればいいですね。



▲アレクサンドラに絵本を読んであげてるのかな？



▲ティオは家族のように見えます

函館大学 ホストファミリー

毎年、海外姉妹校からやってくる交換留学生を、あたたかく迎えてくれるホストファミリーのご家庭。函大の国際交流事業にご協力いただいているご家庭をご紹介します。



高野家にホームステイした留学生

- 1998～1999年
アンマリー・ピーク (オーストラリア・ニューカッスル大学)
- 1999～2000年
エマ・キャサリン・カールソン
ホープ・マリー・カールソン (オーストラリア・ニューカッスル大学)
- 2000～2001年
ジャスティーン・ルイス (オーストラリア・ニューカッスル大学)

アメリカ暮らしで外国人留学生の苦勞を感じ、帰国後は留学生のためになればと。

真砂子さんのご主人は、宇宙開発事業団に勤めています。二十五年ほど前にアメリカ・コロラド州の商務省に客員教授として赴任したとき、家族で暮らしたことがありました。当時アメリカでは、難民救済の動きが起き、それ感動したことがきっかけで、帰国後は千葉で「YWCA留学生の母親運動」に参加し、主にアジアからの留学生との交流をするようになりました。

十年前に、ご夫婦の故郷である函館に居を移したことから、地域の大学を応援したいという気持ちもあって、再びホームステイの受け入れを始めることにしたそうです。真砂子さんが世話をした留学生は、延べ三十人弱になるそうです。「ちょうど三人の子どもたちが大学生に近い年頃になっていたの、同世代の人たちが国際的に理解し合えればいいなと思って。子どもたちは、やはりホームステイした人たちの国には親しみや関心を持っているみたいです」。



▲エマとホープは娘さんの大の仲良しに。

真砂子さんは、留学生たちと基本的なルールをいくつ

か約束し、あとはあまり干渉しません。「朝ご飯は自分で作る、お互いの国のことを日本語でたくさん話します。帰宅が遅くなるときは連絡するなどいくつかの約束をして、それ以外は何も言いません。彼女達の部屋に入ることも、ほとんどないですね。でも、娘はよく部屋に押しかけていたみたいですが」と笑います。



▲ジャスティーン(左)とカラオケへ。



▲留学生が使用する部屋はホテルのよう

「友達ができて家にいないことはむしろ喜ばしいこと」と真砂子さんは言います。「若い人たちが互いに理解し合うのが、これからの時代にとって大切。私は留学生たちに、日本を好きになって帰ってほしいと思います。まったく違和感なく、外国人を受け入れられる真砂子さんもまた、優れた国際感覚の持ち主と言えるでしょう」。



**民法は法律の基本中の基本
価値観や哲学が解釈に現れるのです**

人は生まれた瞬間から死ぬまで、民法という大きな法律によって生きています。「民法は、法律の基本中の基本」で、「商学の勉強の基本」

民法ゼミナール



ゼミの三年間の流れは、二
年次で民法の基礎概念を学び、
三年次で事例研究によって具
体的なトラブルの解決方法を
検討し、四年次で卒論作成と
なります。

永盛先生は、「トラブルが起
きたときに、その問題の所在
を明らかにし、理論的な解決
法をトレーニングしていく。
ビジネスだけでなく、生活全
般にも役立つ」と、学生たち
に学ぶ目的を伝えています。

ゼミ
テーマ
最も基本的な法律で
ある民法を理解し、
法規範にかかわる具
体的なトラブルを題
材に、その解決方法
を考える。

がしますが、それに対して永
盛先生は「法律も結局は解釈
論ですから、解釈する人の価
値観や哲学に結びつくのです。
そして、人間はどう生きるべ
きか、理想を求めることにも
つながるのです。堅苦しく考
えてはいけません。こう



教授 永盛 恒男

永盛先生から学生たちへ



言う永盛先生は、意外にロマ
ンティストなんでしょう。

学生・卒業生からも「親身
になってくれる先生」と評判
なのは、そんなロマンティス
トな面があるからなのでしょう。

法律の基本である民法は、つ
まり人間としてのモラルにも
通じます。学生のみならず、
まずモラルある人間になっ
てほしい。そして、問題が
生じたときに、冷静に原因を
発見し、解決法を見いだせる
ようになりたい。社会で、
そうした能力を発揮できる
人が、優れた人間と思いま
すよ。

商品学ゼミナール

**消費者が求める商品とは何か
商品を通し今日の問題を探る**

「商学部ゼミとは思えない
でしょ」と、白衣姿の溝田
先生が笑います。ここで、食
品の成分分析などの実験がで
きます。

私たちの生活は、さまざま
な商品（製品）の上に成り立
っているとも言えます。「商品
学ゼミナール」は、商品の特
性を通して消費者が求めてい



る商品の在り方はどういうう
のか、また商品の生産から廃
棄までの過程における問題点
を考察することがテーマです。

溝田先生は「商品を通して、
消費者の意識やニーズを考え
ることは、商学的な観点から
も重要です」と、ゼミの目的
をこう語っています。例えば、
食品を例にとっても、原材料
の安全性や、製造・流通過程
での信頼性、廃棄に伴う環境
問題まで、「今日的なテーマが
たくさん含まれているのです。
そうしたさまざまな角度から
商品を観察することによって、
消費者がどのような商品を見
ているか、また消費者に受

ゼミ
テーマ

商品そのものが持つ
特質や、商品に関わ
る諸問題を調べ、商
品としての適性を考
える。

け入れられる商品とは
何かを探る。それ
が、企業が消費者と
どう向き合えばよい
か、ということにつ
ながるのです。

二年次ではまず、
アメリカの「コンシ
ューマ・リポート」
をテキストに、商品
情報の提供の仕方や、
商品テストの方法を学びます。
三年次では、テーマを設定し
個人またはグループで調査・
実験をしながら卒論の準備を
進め、四年次で卒論を仕上げ
ていきます。

毎年、卒論を仕上げたあと



教授 溝田 春夫

溝田先生から学生たちへ

私のゼミでは、問題意識を
持つことで問題発見能力を養
ってもらいたい。そして、問題
に対して情報をどのように集め、
そしてそれをどうまとめ情報
提供するか、その訓練をして
もらいたい。売側の立場
に立つても、やはり消費者の立
場・視点というのを忘れては
いけません。

には、卒業するゼミ生を自宅
に招き、ホームパーティーを
催すそうです。「私が学生の
とき恩師にそうされたのを、私
もやっているんです」。ホーム
パーティーを楽しみに、四年
生のみなさん、卒論がんばっ
てください。



聴講生紹介

昨年度後期の半年間、本学客員教授である落語家・桂三枝師匠を招いて開講された『笑ビジネス論』は、学生のみならず一般市民の聴講生も数多く受講しました。聴講生の中から、函館で人気のハンバーガーショップ「ラッキービエロ」ほか多数の飲食店を経営されているシルクロードグループ代表の王 一郎さんから、三枝師匠の『笑ビジネス論』を受講しての感想を寄せていただきました。

シルクロードグループ代表 王 一郎さん

**笑い声、笑顔は人生の潤い。
笑顔のある仕事、職場づくりに活かしたい。**

アッハッハ、クックック、フッフッフ……と、ア行、カ行、ハ行のたくさん笑いがある。そして、音のないスマイル笑顔と。私達は一日に何回、声を出して笑うでしょうか。

私達は一日に何分、笑顔でいるでしょうか。

私の職業柄もあって、いやいや人生を形づくる一コマの毎日の中で、私には笑い声と笑顔は不可欠のものと思っています。

「スタッフの皆さん、笑顔でお客様をお迎えして」

「カリナリー（工場）の皆さん、



▲王 一郎さん

そんな中、どうせ一回の人生なら、一生懸命に楽しい生き様を日頃思っている私の目に、ある新聞記事が飛び込んできました。函館大学受講生募集、桂三枝師匠の「笑ビジネス論」。んーん、「お笑い」は私には得意な分野じゃないかなあ、と頭をよぎった第一考。



▲昨年度後期に開講された桂三枝師匠の「笑ビジネス論」

さてよ、人を楽しく笑わせる、心に潜んでいる人の笑いを呼び起こす術。ひよつとすると面白いかもしれないぞ。第二考。

講義を終え、第七回の最終回を待つ真冬の日のペンを走らせています。

川柳、いろはカルタ、都々逸、言葉遊び、とりわけ楽しかった三枝師匠のビデオ等々、想像だになかった世界を垣間見、若い学生さんに交じり、私を含め数人の聴講生、即答を要求され、そして当



▲受講中の王さん

てられるまでのドキドキ緊張感、誉められる嬉しさ、他の人の上手さ加減に心グラグラ等、遙か昔々の学生気分も満喫。

私、正直言って一番の劣等生だったのでは……と、苦笑してしまいましたが、三枝師匠の独特の個性に巻きこまれながら、それはそれは楽しい時間を過ごさせていただきました。

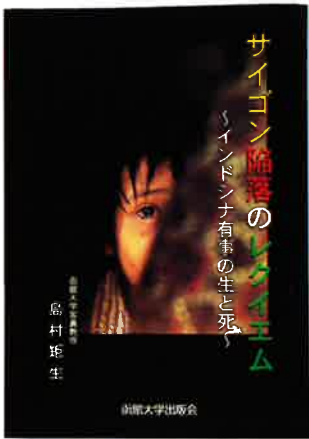
それにしても最近のミーティングの中で、スタッフ達が言っているのです。「社長のお話、この

頃、面白くなったね」と。ほんの数人のスタッフですが……。洒落を言うことの気恥ずかしさが心なしかとれ、そして知らず知らず内に三枝師匠の笑いのエネルギーの影響を受け、自身の外と内の笑いかすかな変化の兆しがあるのかもしれない。嬉しいことです。

著書紹介

『サイゴン陥落のレクイエム』 —インドシナ有事の生と死—

著者 島村 矩生
客員教授
函館大学出版会・2002年9月刊



島村 矩生（しまむら のりお）
1933年東京生まれ。慶應義塾大学法学部卒。NHKロンドン特派員、サイゴン支局長、カンボジア取材班団長、報道局外信部長、アメリカ総局長等を経てJSTV社長（在ロンドン）。現在、函館大学客員教授。

一九七五年ベトナム戦争が終結し、もうすぐ三十年になるうとしています。著者の島村先生は、一九七四年初めにNHKサイゴン支局長として赴任し、サイゴン陥落の日を迎えました。その後一年余り、最後の西側テレビ特派員として、一九七六年初夏の南北ベトナム統一まで現地に残り、厳しい報道規制の中で映像による証言を撮り続けました。さらに帰国後も、ベトナムのカンボジア侵攻、ポル・ポト政権崩壊後のカンボジア情勢も取材を続けたのでした。

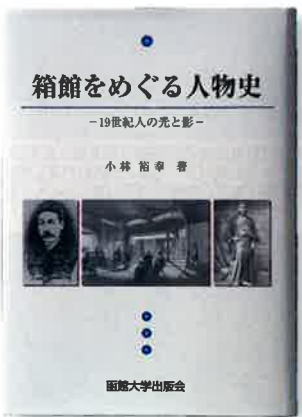
本書は、一人のテレビジャーナリス



トが、現地で目の当たりにした、サイゴン陥落前後の様相をつぶさに書きまとめたものですが、その視点には民衆・日本人という立場が根底にあります。著者は本書の前書きで、「人類の業である戦争や動乱は、懲りることなくくり返され、同時多発テロやアフガン戦争のような、新しいタイプの悲劇が生まれています。ただ形態は変わっても、民衆の有事における難儀、苦労には変わりはありません。あのベトナム戦争を、歴史の殿堂にしまっておくだけではいけないのです。それだけに、あの戦火の記憶と民衆の苦難を、当時の日本政府などの有事対応のありようを含めて、あらためて検証、再構成するのは意義あることだと思います」と書いています。

『箱館をめぐる人物史』 —19世紀人の光と影—

著者 小林 裕幸
特別講師
函館大学出版会・2002年9月刊



小林 裕幸（こばやし ひろゆき）
1939年札幌生まれ。上智大学文学部卒。1963年札幌テレビ放送にアナウンサーとして入社。同アナウンス部長を経て、同函館放送局長。現在、函館大学特別講師。

本書は、十九世紀半ばまでの箱館を中心とした歴史の概略をまとめたものです。しかし、単に通史的にまとめたのではなく、箱館を舞台として活躍した人物を描きながら、その背景にある時代と、時代の中の箱館を描き出しています。

一八五四年、日米和親条約調印直後のペリー来航時と、それまでを描いたのが前半。後半は、五稜郭の設計者として知られる武田斐三郎と、医師として箱館に赴き病院を設立し、のちにジャーナリストとして活躍した栗本錦雲（じょうん）の二人にスポットを当てた人物伝となっています。



著者は、本書執筆に動機として「かつてここに幕末最高の教育機関があったことが語られることもほとんどない状態であるが、箱館が短い間でも日本国内に光り輝いた日々があったことを教えてくれる一冊です。」

五稜郭

日本最初の西洋式要塞・箱館戦争の舞台に。いまは桜の名所、函館市民のイベントステージ。

日本最初の西洋式要塞・箱館戦争の舞台に。いまは桜の名所、函館市民のイベントステージ。函館市民の憩いの場として、また観光スポットとして親しまれている五稜郭公園は、幕末に蝦夷地防衛のために築城された要塞でした。当時、大砲や鉄砲が発達した西洋諸国に攻められると、日本の城ではひとたまりもありません。そこで、西洋式の要塞づくりが急がれたのです。

設計したのは、武田斐三郎という蘭学者で、フランス軍艦の士官から西洋式築城術の指導を受け、日本で初めての西洋式要塞、五稜郭の設計から建設の一切を取り仕切りました。五つの突き出た角を持つ星形をしていることから、五稜郭と名付けられたのです。

実際に西洋との戦争の舞台にはなりませんでしたが、この五稜郭が戊辰戦争最後の舞台となりました。明治元（一八六八）年、榎本武揚率いる旧幕府軍が、五稜郭を占拠。蝦夷共和国の建国を宣言しました。しかし、翌年五月十二日の新政府軍の総攻撃を受け、三日後に降伏。この戦いによって、土方歳三らが多くの兵士が戦死しました。

この箱館戦争の集結によって、二連の戊辰戦争（箱館戦争）が終わり、江戸幕府が完全に崩壊して明治という新しい日本の国づくりが始まったのです。

五稜郭の公園としての歩み

明治二年の箱館戦争終結後、五稜郭は陸軍省の管轄下に置かれました。その後、五稜郭を公園として市民に開放しようとする動きが出て、大正二年三月に国から移管を受け五稜郭は公園として開放されました。

それまで陸軍の練兵場だったわけですから、開放当時は現在のように桜など風流なものはありませんでした。そこで、函館毎日新聞社が発刊二万号を記念して、二万本の桜の苗木を寄贈しました。この桜は、大正五年から本格的な植樹が始まり、十一年まで行われました。現在の桜の名所となる、発端となったわけです。

大正二年には、湯川までの電車が既に開通していましたが、電車で五稜郭公園を訪れる市民も多かったでしょう。五稜郭公園が市民により身近になったのは、大正十一年、当時皇太子だった昭和天皇が函館を行啓された際に、現在行啓通として名の残る道路が整備され、函館中心部から五稜郭までがメイン道路でつながったことがきっかけと言えるでしょう。昭和九年には起こった函館大火でも、五稜郭公園は火災を逃れることができ、戦前にはすでに桜の名所として広く知られるようになりました。

五稜郭・箱館戦争をもっと知ろう



市立函館図書館
函館公園内にあり、箱館戦争に関する資料も多数所蔵。その他、啄木の日記や手紙など貴重な啄木関係資料が保存されています。



土方歳三最期の地碑
新撰組副隊長で、箱館戦争で戦った土方歳三は、小説・映画・ドラマなどでも取り上げられ、いまだ多くのファンがいます。その土方歳三最期の地碑は、若松緑地公園内にあります。命日は5月11日。



碧血碑（へっけつひ）
函館戦争で死亡した土方歳三をはじめ旧幕府軍の脱走兵約800人の霊がまつられています。明治8年に建立されました。碧血とは「義に殉じて流した武人の血は三年たつと碧色になる」（狂子）の故事に由来しています。

五稜郭をステージとしたイベント



箱館五稜郭祭
5月中旬に行われ、戊辰戦争時の戦いや行進が再現されます。大砲や鉄砲は、空砲と言えども迫力満点。また「ミスター土方歳三コンテスト」では、その年の「土方歳三」が選ばれます。



函館野外劇「五稜星（ほし）よ永遠に」
脚本、演出、キャストなど、すべて市民ボランティアで上演される日本最大級の野外劇です。7月下旬〜8月中旬にかけて行われます。



五稜星の夢
1989年から始まったイベントで、1月中旬から2月14日まで、五稜郭がイルミネーションによって縁どられます。空からだと、まさに「地上の星」が見えるでしょう。

市立函館博物館五稜郭分館



五稜郭の築造、箱館戦争に関する資料を中心に展示。榎本武揚の写真も、展示されています。建物の隣にある兵糧庫は、建設当時の姿を残す唯一のものです。

五稜郭タワー



高さ60mの展望台からは、五稜郭公園が一望できるだけでなく、遠く下北半島まで見渡せます。1階には、築造当時の姿を復元した模型などの資料が展示されています。また売店もあり、函館土産が揃っています。

武田斐三郎先生顕彰碑



五稜郭の設計者である武田斐三郎を讃えた記念碑。「この碑にさざると頭が良くなる」と言われていて、碑の前には修学旅行生などの姿が見られます。

年表

安政 2 (1855) 年	3 月	箱館開港
4 (1857) 年	7 月	五稜郭着工
元治元 (1864) 年	5 月	五稜郭落成
慶応 3 (1867) 年	10 月	大政奉還
4 (1868) 年	8 月	榎本武揚艦船8隻を率いて江戸を脱走
明治元 (1868) 年	11 月	榎本軍五稜郭を本営とする
2 (1869) 年	5 月 11 日	新政府軍箱館へ総攻撃。土方歳三戦死
	5 月 18 日	榎本軍降伏
大正 2 (1913) 年	3 月	公園として一般に開放
5 (1916) 年		函館毎日新聞が発刊1万号達成を記念し桜を1万本寄贈。
		(大正12年までかけて植樹)
昭和27 (1952) 年	3 月	国の特別史跡に指定



学生の創意が生き大成功

第三十七回 函大祭

学生たちにとって最大のイベントとなる函大祭が、昨年十月十九、二十日の二日間開催されました。昨年は、初の女性実行委員長が陣頭指揮をとり、また第二回目のミュージックフェスティバルもスケールアップしました。函大祭実行委員長・松本めぐみさん、ミュージックフェスティバル実行委員長・梅津智行さんに総括してもらうとともに、盛況ぶりを写真でご紹介します。



第三十七回函大祭
実行委員長
松本めぐみ
(四年・函大付属横濱高等学校出身)

第三十七回函大祭をふり返って

平成十四年十月十九、二十日に開催しました第三十七回函大祭が無事、大盛況に終えることができました。私が実行委員長に任命されてから約半年、不安と緊張の毎日でした。しかし、昨年に劣らないたくさんの方の来場していただくことができ、心から嬉しかったとともに、とても安心することができました。

さて、今回の企画にはバックンマックントークSHOWやYOSAKOIソーラン、クイズ大会、ミュージカル系コンテスト等のステージイベント、函大祭青果市や模擬店、フリーマーケット、餅つき大会、ストラックアウト等の催しがありました。これらの企画は、春のうちに考え予算を立て、交渉・買い出しを繰り返し、細かく手直しをして当日を迎えました。一番大変だったのは、パンフレットの制作でした。企業の方に協賛して広告を提供していただくために、暑い中スーツに身を包み、汗を流しながら函館市内を隅から隅まで走り回りました。またページのデザインを考え、夜遅くまで構成を考え、印刷会社との打ち合わせを繰り返し作り上げました。本



▲松本実行委員長の開会宣言で幕開け



▲社会人・大学生・高校生と多彩なバンドが出演



▲バックンマックンのトークショー



▲焼き鳥はいかがですか～



▲フリーマーケットで商店経営を勉強？



▲本場、大阪の焼きうどんってっせ！



▲函大生のYOSAKOIチームも参加



▲つきたての餅を来場者にふるまった



第二回ミュージックフェスティバル@函館大学
実行委員長
梅津智行
(四年・函館西高等学校出身)

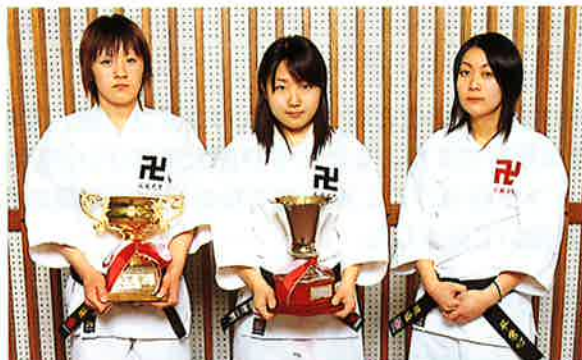
喝采「ミュージックフェスティバル」

昨年に続いて、ジャンルにとらわれない一つの音楽ということで、ミュージックフェスティバル（函大軽音楽&ジャズ合同ライブ）が、函大祭と合わせて行われました。昨年第一回の感動が耳に残っていただけに、自分が委員長をやることはあまり迷わず、かえってフアイトが湧いたのを覚えています。そして、自分に頑張れと喝を入れ、スタッフとともにこの大きなイベントに向かいました。しかし時間が経つにつれ、計画を実現させることの難しさと、気軽に引き受けたことへの後悔が徐々に大きくなりました。半袖の暑い季節は、いつの間にか長袖の季節に変わり、焦りだけがスタッフの表情に表れ始めたのもこの頃でした。何回も何回も、時間を忘れて話し合いを重ねた。意見の食い違いで怒鳴り合ったこともあった。でも、そのことはこのライブを成功させようとする意気込みの証し、いつしかそれが一本のロープになった。いきました。参加するバンドや学校など、スニーカーの底がすり減るくらい走り回ったことも、思えば懐かしい時間です。無我夢中で汗を流し頑張ったスタッフの面々が、あの瞬間に燃えたことは確か、そしてパワフルなステージを演出できたことに喜びを感じました。予定以上のバンドの参加で、時間の調整に苦労したことも嬉しい悲鳴でした。ステージとフロアが一体となり、大いに盛り上がったライブとなりました。まさしく、衝撃と感動……そして驚愕のステージでした。縁の下のなんとやら、苦労したけど満足した二日間でした。協力してくれたスタッフに感謝します。そして、第三回に期待します。

かわいいけれども強いんです。 函大・少林寺拳法部の三人娘

函大少林寺拳法部の女子選手三人が、全国大会において素晴らしい成績をおさめました。

まず、渡邊加代さんは昨年



渡邊加代さん
(四年・新潟県・村上桜ヶ丘高校出身)
松井芙美子さん
(二年・新潟県・西新発田高校出身)
渡邊江里子さん
(二年・宮城県・仙台育英学園高校出身)

「その悔しさがあつたので、前回の大会から一年間、これを目標にしました。今回は上位を狙ってました」と言います。単独演舞は、演舞の構成などを自分で考え、



▲単独演武で全国3位の渡邊加代さん

その表現力や技の正確さ、そして気合いを見せるものです。渡邊さんは普段の練習を、鏡に向かってやったり、先生や友達に見てもらったりして演技を磨いているそうです。四年生になって、もうクラブも引退かと聞くと「今年も大会には出場します。練習量は減るけれど、さらに上の成績を目指したい」と話していました。



▲組演武で最優秀賞を獲得した渡邊江里子さん（下）と松井芙美子さん

渡邊さんは高校時代から、全国大会での優勝や国際大会出場の経験もあり、「高校の時から名前を知っていた」と松井さんが言うほどの実力者。そして「大学でいっしょになったので、彼女を目標に頑張ってきた」と言います。そんな渡邊さんと松井さんがコンビを組んだのは、一年生の五月のこと。それから半年足らずで、全国一位となりました。渡邊さんは、「松井さんは意気はつきりしているので、自分の思いつかない構成を考えたり、自分のいいところを引き出してくれる」と言います。松井さんは渡邊さんを「技の正確さですが、それだけ体力も精神力もしっかりしていて、私をリードしてくれる」と言います。

これからの目標について、渡邊さんは「技術・体力・精神力をさらに鍛え、自分を向上させたい」。松井さんは、「高校のとき出場できなかった国際大会が、大学四年の年にあります。その国際大会出場が目標」と言います。これまで道内ではトップレベルの成績をおさめてきた少林寺拳法部ですが、これからは全国レベルで強豪校の仲間入りをしてほしいですね。

平成十五年度 「全日本大学ボウリング選手権大会」第3位

今年2月に行われた「第40回 全日本大学ボウリング選手権大会」で3位となった函大ボウリング部。昨年・一昨年と、同大会準優勝だったことを考えれば、ちょっと残念な結果ですが、しかし今や函大ボウリング部は常に優勝争いに加わるほどの実力となりました。その函大ボウリング部を、ここまで育てたのが同部顧問の西村淳先生です。西村先生に、どのようにクラブが成長してきたかを聞いてみました。

同好会から部に昇格してわずか七年で
全国トップレベルに

函大ボウリング部顧問 助教授・西村 淳先生



函大ボウリング部の歴史は、平成四年に同好会として発足したのが始まりでした。もともと、ボウリングを趣味として楽しんでいた西村先生を中心に学生たちが集まり、若松裕之教授、今井敏博助教授も顧問として参加する形でスタートしました。

部に昇格したのは平成八年。本格的に大会に参戦した翌九年からは、いきなり「東北学生リーグ戦」で優勝、以後このリーグ戦では春・秋期十二回のうち十一回優勝（準優勝一回）を遂げました。

西村先生は、毎年夏、東京で行われる高校生のボウリング大会に行つては、高校生をスカウトしてきたのです。「強豪大学は、部の練習なども管理的なところがありますが、うちは学生の自主的な練習にまかせています。ボウリングを楽しみたい」といいます。



▲昨年準優勝から、今年は3位に。ちょっぴり悔しい表情の選手たち。

現在、練習場となっているボウリング場との契約交渉を進めたのは卒業生です。「もともと練習しやすい環境にしたいけれど、難しい。本当なら、大学内にボウリングレーンがあればいいんですけどね。ちょっと無理かな」と笑いますが、まんざら冗談ではなく本気も混じっているようです。

「私は選手経験がないので、技術的なことは教えられないけど、選手一人ひとりの勝ちたい気持ちをもとめるのが私の役割。最近では、函大でボウリングをやりたいと言ってくる高校生が出てきたことが、なにより嬉しいですね」。

今年からは、女子部員も大会に参加するようになりました。女子も、男子と同じように短期間で全国トップレベルまで駆け上がるか、西村先生の楽しみはまだまだ続きそうです。

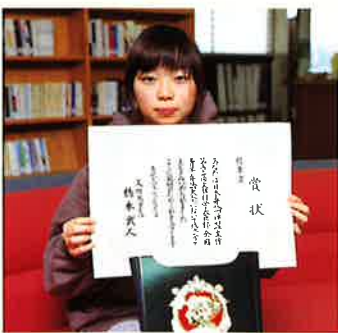


▲大会初参加の女子チーム

Campus Report

キャンパスリポート

全国青年弁論大会で 渡邊裕美さんが全国二位に。



別な目で見てたんですね。それで、普通に接するようになってから、相手も打ち解けてきてくれました。結局、自分が心を開いていかないとけない、偏見や先入観は相手を傷つけてしまうことを言いたかった」と、渡邊さんは今回の論旨を説明してくれました。

一昨年に誕生した函大弁論同好会から、全国大会入賞者が出ました。昨年十一月、奈良県で行われた「全国青年弁論大会・一般の部」で、渡邊裕美さん（二年・北海道・北海高校出身）が見事第二位に輝きました。渡邊さんが発表したのは「動いていくもの」という題で、大学一年のときに参加したボランティア体験をまとめたもの。

「特殊学級に、五日間ボランティアで行って、高校二年生の女の子を担当したのですが、最初をどう接していいかわからなくて。三日目くらいに気づいたのですが、自分の方が相手の特

英語の先生でも難しい英検準二級に合格！

中学・高校の英語の先生でも難しい、と言われる実用英語技能検定（英検）準二級に、三年生の熊谷隆司くん（函大付属有斗高校出身）が合格。昨年六月の一次試験、十一月の二次試験にパスし、英検準一級を取得しました。

さて、熊谷くんの英語の勉強方法は、「とにかく単語・熟語を覚え、それを忘れないように毎日英字新聞を読んでます。いまなら、ジャパントイムスの七、八割は理解できます。長文をいかに速く読むかが、試験でのキーポイントになります」。そして、試験対策としては英検やTOEICの教材でリスニングを中心に勉強するそうです。



毎日の努力の積み重ね。まさに「継続は力なり」を実践している熊谷くん。「今年中には一級を取りたい」と、勉強を続けています。

函大友会・献血キャンペーンで 日本赤十字社より表彰される

函大友会では、学生献血推進協議会の「函館学生献血推進協議会」に加盟して、市民へ献血の呼びかけを行っています。その活動に対して、日本赤十字社より表彰状が贈られました。

函館地区は、函大と函館大谷短大で構成し「函館あつかんBAY」とチーム名をつけています。平成十三年度の会長を務めた斉藤悠太くん（四年・函大付属有斗高校出身）は一年の時からこの活動に参

加して、「協力してくれる他校や函大の学生たちとの輪ができたことが、大きな収穫です」と言います。

献血キャンペーンは、夏と冬の年二回行い、そのための準備を毎月二回の会議を設けて進めています。ポスターを市内の学校に配布したり、新聞やラジオを通じてのPR活動を行い、本番でのキャンペーンでは着ぐるみなどを着て道行く人に献血を呼びかけます。十三年度は、道内五プロ



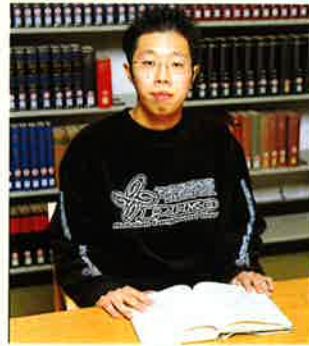
▲献血推進活動の中心メンバー、斉藤悠太くん（4年 函大付属有斗高校出身）、松本めぐみさん（4年 函大付属柏校出身）、熊本公哉（4年 函大付属柏校高校出身）くん。

小林壮敬くん(四年・函大付属有斗高校出身)が、全経簿記検定二級合格!

続々と学生たちの素晴らしい話題が届いています。

小林壮敬くんは、全国経理学校協会(全経)が行っている簿記能力検定で、一級を取得しました。この一級には、一級会計と一級工業簿記の二つがあり、小林くんは昨年二月の試験で同時に合格。このときの一級合格者は、函館地区でわずか三名、学生では小林くんただ一人というのですから快挙と言つていいでしょう。

三年生になってから、片山先生のゼミで検定受験に取り組むようになり、日商簿記検定の三級、二級と取得。そして、今回の全経一級へ



とつながりました。片山先生も合格の知らせを受け「まさか両方とも合格しているとは」と驚いていました。小林くんも「実力の証明になる」と喜んでいました。これからも、日商一級、全経上級の試験に挑戦したいと言っています。将来の目標は税理士試験合格。そして、いつかは専門学校などで簿記を教えるみたい、との希望を持っているそうです。

函館の「まち」をマーケティングで検証 日野ゼミが全国学生ゼミ大会に参加

日野隆生先生の「マーケティング論ゼミナール」では、毎年「全国学生経済ゼミナール大会」に参加しています。昨年も、十二月に日本福祉大学で行われた



専任講師 日野隆生

大会に、三年生のゼミ生五名が参加しました。この大会は、経済学系の学生が日頃の研究成果を共同論文にまとめ、テーマごとに発表しあい討論するもので、今回のテーマは「まちづくり」。

この大会の共同論文のもとになったのが、昨年五月に行われた「函館塩ラーメンサミット」で行ったアンケート調査でした。二日間で五百人以上にアンケートを取り、ゼミでその結果

インターネットを教えます 「IT専攻塾がボランティア活動中」

IT専攻塾の学生たちは、昨年の春から函館市内にある「旭ヶ岡の家デイサービスセンター」で、毎週火曜日にお年寄りたちとインターネットを楽しむなどのボランティア活動を行っています。

そして、今年の春休み期間中いつもと違う交流をしようと、学生たちの企画による「私の好きな函館」と題した上映会を行いました。

まず、函館の古い街並みの写真をスライドで上映、お年寄りたちは懐かしそうに眺めていました。そのあと、学生たちがデジカメで撮影した「私の好きな函館の場所」を紹介。次々と紹介される風景を見ながら、学生たちとお年寄りたちの間で、さまざまな会話が生まれました。お年寄りたちの昔話を聞きながら、「今の自分たちは恵まれているな」と学生たちは感じた



ようです。



須藤 光くん

論できたことが、大きな経験になりました。自分たちの力不足を感じたけど、達成感がありました。後輩たちも、ぜひ今年参加してほしい。「ラーメンサミットからゼミ大会まで、学生たちは本当に成長しました」と、日野先生も満足そうに話しています。

生を窓を訪ねて

うなぎ屋の主人が書いた小説『うなぎ屋物語』が北海道新聞文学賞受賞

「うなぎ鯉之助」店主 中里 拓二さん

「うなぎ鯉之助」店主 中里 拓二さん(五回生・昭和四十八年卒)



▲「書くことは生活と一体」と語る中里さん

中里 拓二さん、現在五十二歳。昭和二十三年に創業した、老舗のうなぎ屋の二代目として店を切り盛りするかたわら、うなぎ屋を舞台にした小説で平成十四年の北海道新聞文学賞を受賞しました。

中里さんは、若い頃から作家志望というわけではなかったようです。「大学に入る前から店の手伝いはしてましたし、大学生の頃には店を継ぐことを決めてました」。大学卒業後は、自分で決めた通り家業のうなぎ屋で修業に入ったのですが、父親が病気で倒れ、若

くして店を継ぐことになりました。小説を書くようになったのは、二十五歳頃のこと。函館文学学校という、作家の木下順一氏が指導するカルチャー・スクール函館文学学校ができ、その第一期生になったのが始まりでした。それから、函館文学学校で文章を書く勉強をしながら、函館のタウン誌『街』に随筆や詩を発表するようになった。

今回の受賞作『うなぎ屋物語』は、長編小説としては三作目で、原稿用紙約百四十枚、三ヶ月くらいで書き上げた作品です。「五年ほど前から『文邪』という同人誌に参加しているのですが、そこで発表した作品です。それを、木下順一先生が読んでくれて、この賞に推薦してくれた」のだそうです。「候補作に残ったと聞いただけで満足で、受賞するなんてまったく考えませんでした」と、中里さん本人が受賞にいちばん驚いています。

中里さんは、「小説も結局は、自分の生活の中から生まれるもので、私の生活の主体はうなぎ屋の仕事なんです。だから、仕事と文章を書くことが、私の中では一体なんです。それに、うなぎのことは私にしか書けない世界だと思ふ。うなぎの開き方など、具体的に書くことで自分独自の作品として味わいがでくると思っています」。

中里さんの毎日は、昼十一時半には店に出て、帰宅するのは夜中の十二時過ぎになるそう。小説を書くときは、朝



上平幸好教授が 函館短大新学長に

本学教授・上平幸好先生が、本年四月一日付で函館短期大学の第十代学長に就任しました。

上平先生は、北大水産学部卒業、昭和四十一年に函大の公募教員第一号として採用され、五十六年に教授に就任しました。担当は「生物学」や「自然科学概論」など。函館短大学長就任後も、当面は函大での授業を受け持つ予定です。

「三十七年間函館大学でお世話になり、その恩返しの時がきた」と、函館短大の学長就任を快諾。「引き続き地域社会に貢献し、支持される短大づくりを目指したい。五十年の歴史を大切に、教育内容の一層の充実を図りたい」と意欲を示しています。

図書館

蔵書が増えたことにより、一昨年に増築工事が行われ、広くゆとりある図書館に生まれ変わりました。蔵書数は、現在約13.3万冊。社会科学系大学の蔵書では、函館市内で最も充実していると言えます。蔵書はデータベース化が完了し、オンラインによって管理しています。

学生・教職員のみならず一般市民にも開放され、図書の貸出や学習に利用する市民も多く、地域に開かれた図書館となっています。



▲ゆとりあるスペースで広々とした館内



▲業界専門誌から一般総合誌、ファッション雑誌まで定期購読の雑誌も充実している



▲2階は学術専門書・外国語原書を中心に収めている



▲館内のあちこちに自習スペースを設けている

平成十五年度 公開講座のご案内



公開講座実施委員長
助教授 田部井 英夫

公開講座実施委員会では、「地域に開かれた大学」をめざし、多種多様な公開講座を実施しています。平成十五年度の公開講座の計画がまとまりましたので、お知らせいたします。

●主な講座内容は
・英検模擬面接
・夏季テニス講習
・本学特別講師による講座（四回）などを予定しています。

なお、特別講師による講座のテーマは「不安に備える暮らしの知恵」です。今日、暮らしを取り巻く環境は、ますます厳しくなっており、講座では、暮らしに直結した年金、土地、医療、生保など切実な問題を取り上げ、いかに安心な生活を送ることができるか皆様といっしょに考えてみたいと思います。

詳しくは、本学のホームページや新聞等でご案内しますので、実施の際はふるってご参加ください。
函大ホームページ
<http://www.hakodate-u.ac.jp/>

授業 アラカルト

『映像制作論』

映画監督・シナリオ作家
客員教授 山内 鉄也 先生



東映の監督で、テレビドラマ「水戸黄門」などの制作を手がけている山内鉄也監督が、函館大学客員教授として「映像文化論」「映像制作論」を講義しています。

昨年度から始まった「映像制作論」では、まず映像制作に関する基礎知識を学び、その後、一つの作品を作るためのシナリオづくりを始めました。そのシナリオをもとに、実際に撮影。もちろん、撮影側のスタッフも、演じる役者も学生たちです。

本格的な撮影は、昨年夏から初冬にかけて行われ、今年一月には学内で完成試写会が開かれました。初の作品は『責任』と題したもので、高校生のグループが仲間の交通事故死を通して、「責任」について考えるという内容です。

学生たちの映画制作を指導した山内先生に、「映像制作論」の一年間を振り返ってもらいインタビューしました。

やらなきゃならない、というプロの責任を感じてほしかった

―映画制作実習を見ていて、学生のイキイキとした表情が印象的でした。

山内 ●私は俳優学校で演技指導の経験があり、ものをつくることにはみんな真剣になり、同じ目的を持ってまとまることを経験として知っています。それで、ぜひ実習で学生たちに作品を作らせたかったんです。

―学生たちに、映画づくりを通してなにを学ばせたかったですか。

山内 ●隔週の授業なので、時間が足りません。シナリオづくりも期限を切って、いつまでにやらないといけない。でも、とにかくやらなければならぬ。これは、プロなら当たり前のことですが、とにかく完成させるんだという

経験をさせたかった。

―授業を重ねていくうちに、先生への接し方も変わってきたのではないですか。

山内 ●プロやプロをめざしている人を相手するわけではないので、できるだけ怒鳴らないように、思っていたのですが、映画作りが始まるとやはり真剣になって「バカヤロー」なんて怒鳴ってしまいましたが、そういう関係になれたってことです。

―完成した作品を見て、学生たちの反応はどうでしたか。

山内 ●とにかく、一つの作品を完成させることが、大きな達成感であり、喜びでもあります。学生たちは、映画の最後に自分たちの顔を入れたのか言っています。

きて、やはり満足感があるのではないのでしょうか。来年はこうしたいって、今から言ってくるすね。

―では、今年度はどのような「映像制作論」をお考えですか。

山内 ●今回の作品は、時間がなくて編集作業は私がやりましたが、次は編集作業まで学生たちにやらせたいと思っています。

―最後に、学生たちにこれからの期待を込めたメッセージを。
山内 ●なにがともな本気になってやること。その中で、真剣に人とぶつかり合うことが大事だ、ということをお忘れなでほしい。こうした経験が、彼らの人生に少しでも役立てば、幸せに思います。



▲学生達の演技も真剣そのもの



▲お手製の台車を山内先生自ら押しています。



▲撮影したカットを再生しながら検討中



▲カメラアングルや光のあて方など、山内先生が本格指導



▲撮影の指示をする山内先生